

Spiritual Awakening ～組曲 仏陀～No.4

2011年 橘 木竜

座の闇を見て

かさむ禍^かを熱く抱き

込めて吐いて気を湧かせ

道駆ける

開く穴に問い

食べる矢を減らし、絶ち

諫め焼いて理を鍛え

満ちたざる

空、飛び込んで回り

身起こし叩く

木々は空を裂き

気を燃やした

地に踊り臥せ弾け

気倒れながら

「川」と凧いだ熱

禍が笑った

香り立つ苦味は

根を張るままで

魂だけ蒼く

溶かされ

やわらかな光に

血の味^みを清め

新たな道もまた

駆け出る

乳混ぜた粥

清まった血の味会い

辛く甘く合わさって

気を締める

「奏でる道」と

神の乳口を借り

語り固め湯をかけて

種垂らす

肉、快^{かい}に愛絡み

身炙り誘う

欲の魔王来て

子を咲かせた

研ぎ澄まし溜め込んで

偽^ぎ冷まし払う

「風」と嘆く香に

芽を生やした

香り立つ命は

因果がつなぎ

仮初め色描かれ

引き合う

武器を抱く配下に

慈悲の灯広げ

悟りの実を求め

息張る

ああ…

「香り立つ苦味は

因から変わり

仮初めなら無我で

いれば」と

「香り立つ悟りは

諭せば生きる」

導き受け、止まず

駆け出た